



とのまるくん  
(殿ダムイメージキャラクター)

因幡のくにの夢づくり

# 「とのまる通信」

第35号  
2007・9・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

仁風閣一〇〇周年記念事業 市民文化情報展

## 殿ダム展 開催

袋川は、因幡の国の国庁、江戸時代の城下町、そして現在の鳥取市と、いつの時代も流域の人々の生活を支えてきました。そして、4年後に完成する殿ダムにより、また新たに袋川の歴史が始まるうとしていきます。

この度ご紹介する『殿ダム展』は、殿ダム建設事業を通じ、袋川の歴史を見つめ直し、袋川とのこれからの触れあい方や鳥取市の発展を模索するきっかけづくりになればと思います。

鳥取市文化財団と企画した展覧会です。

今号では、殿ダム展の主な展示内容をご紹介します。

第1会場 殿ダム情報

平成の大ピラミッド 現れる



第2-A会場

殿ダム建設事業を長年見続ける2人の男  
写真家池本喜巳 写真展

せせらぎの詩

うた



第2-B会場

殿ダム建設事業を長年見続ける2人の男  
画家福田典高 絵画展

時代を語る 私は袋川



とのまる劇場上演

ウォーキング大会

殿ダム建設現場見学会

『殿ダム展』関連イベント情報も満載です。  
詳しくは3ページをご覧ください。

### 殿ダム展

会期 平成19年9月29日(土)~11月4日(日)

場所 鳥取市歴史博物館(やまびこ館)

入場料 無料(ただし常設展示会場は有料です)

主催：(財)鳥取市文化財団・国土交通省殿ダム工事事務所

■お問い合わせ先  
(財)鳥取市文化財団 TEL:0857-23-2410 FAX:0857-23-2149  
<http://www.yamabiko-kan.or.jp/tbz/>

鳥取市歴史博物館(やまびこ館)の特別展示室にて行われる『殿ダム展』は、主に2つの展示内容で構成されています。今回はその内容の一部をご紹介します。その他、会期中はほぼ毎週、殿ダム展開連イベントを行いますので、皆さんお気軽にご参加ください！



第1会場は、袋川や鳥取市の歴史から殿ダム建設事業についての最新情報をご紹介します。

# 殿ダム展

第1会場 THE 殿ダム

平成の大ピラミッド現れる！



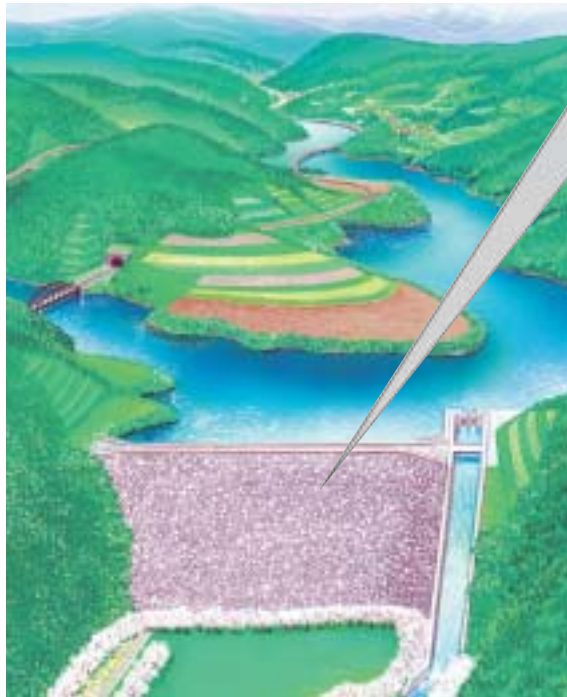
殿ダム工事事務所長  
木村克己

ご挨拶

殿ダムは鳥取市国府町、因幡の国の歴史と文化を育んできた袋川に建設を進めている多目的ダムですが、平成23年度の事業竣工に向け、今年度からいよいよダム本体工事が本格的に始動することになりました。

『殿ダム展』はこれを機に、(財)鳥取市文化財団において企画されたもので、殿ダム建設事業を通じて、今後の袋川流域を含めた鳥取市の未来を考える展覧会です。この展覧会において殿ダム工事事務所は、より多くの方々に殿ダムについて理解を深めていただけるよう、事業の目的や現在の工事状況など、様々な情報を分かりやすくお伝えしたいと準備を進めています。

殿ダムが地域の新たな財産として共存し、市民の皆様のご生活・文化にも貢献できるよう、今回の展覧会がそのきっかけとなれば幸いです。



殿ダム完成イメージ図



殿ダムは岩石や土石を積み上げて造るロックフィルダムです。

殿ダムの高さは仁風閣の高さの約**5**倍



殿ダムについての疑問あれこれ



どこにできるの？

環境はどうなるの？

いつから造っているの？

誰が造っているの？

どんなダムなの？

いつ完成するの？

どうやってできるの？

今どんな工事をしているの？

どんな役割があるの？

完成したらどうなるの？

詳しくは、『殿ダム展』会場にてお知らせしています！

殿ダムの最新情報満載ですよ！ぜひお越しください！



殿ダムはあなたのそばで造っています！

ぜひ、この機会に『殿ダム展』会場へお越しいただき、鳥取市の歴史や現状、そして未来に至るまで、殿ダム建設事業を通じて考えてみませんか！



第2会場は、殿ダム建設を長期に見続ける写真家池本喜巳氏と画家福田典高氏の視点で、殿ダム周辺をご紹介します。

# 殿ダム展

第2-A会場 うたせせらぎの詩

殿ダム建設を長年見続ける2人の男 よし写真家 池本喜巳



写真家 池本喜巳

### プロフィール

1944年鳥取市生まれ。日本写真専門学校卒業。鳥取市で池本喜巳写真事務所を設立し、仕事の傍ら故郷田正治氏の助手を長く勤める。ライフワークとして山陰の風景や人物を記録し、外国や東京を中心に作品を発表。1999年鳥取市文化賞受賞。2003年約8年かけて撮影した『池本喜巳写真集 三徳山三仏寺』は第22回「土門拳賞」と第34回「講談社出版文化賞」の写真賞に最終ノミネートされ、鳥取県出版文化賞を受賞。2006年写真集『近世店屋考』出版により、経済産業大臣感謝状を受ける。

### 【写真集】

そでふれあうも(1993)  
大雲院祈りの造形(1996)  
鳥取百景(1999)  
三徳山三仏寺(2002)  
近世店屋考(2006) 他

## 写真家 池本喜巳氏と殿ダムとの係わり

平成2年1月、当時、国府町役場職員だった友人から「百万遍という伝統行事が国府町拾石集落で行われるので、撮りに行かんか」と誘われ、初めて拾石へ行きました。そこには茅葺き民家や、昔ながらの美しい山村集落が残っていました。この集落以外に殿集落と、神護と楠城集落の一部がダム建設によって移転をよぎなくされる事を知り、私の作品の根源をなすテーマ“ふるさとを記録する事”に沿っていたため、この日から殿ダム周辺の風景や人々の生活を記録し始めました。

## 殿ダムに寄せる思い

ダム建設も近年は周辺の整備も含めずいぶん景観に配慮されるようになりました。ダム本体もコンクリートではなく、川底の石を積み上げたロックフィル形式です。

さて、あまり知られていない事ですが、現代社会に不可欠な携帯電話などの部品を生産している鳥取市内のとある企業訪問により、安定した工業用水を渴望し、水不足に苦しんでいる現状を知りました。安定した工業用水や生活水の確保が求められ、ダム建設が進んでいる今、私達は殿ダムの自然のあり方も含めもっと関心を持ち、将来に活用していきたいものです。



はこ 国府町宮滝



梅雨の頃



田植の光景



農作業に向かう孫とおばあちゃん



屋根の雪降りし風景

## 殿ダム展関連イベント

### ■「時代を語る・私は袋川」シンポジウム

日時：9月24日(月)午後1時30分

場所：鳥取県民文化会館 第1会議室

◇第1部 基調講演「鳥取の風土と袋川」  
講師 (財)土木研究センター風土工学研究所長 竹林征三氏

◇第2部 (調整中)

◇第3部 パネルディスカッション

### ■殿ダム周辺ウォーキング大会

日時：10月28日(日)

### ■殿ダム建設現場見学会

日時：10月14日(日)

10月21日(日)

### ■殿ダム周辺撮影会

講師 池本喜巳氏

日時：10月13日(土)

### ■殿ダム周辺写生会

講師 福田典高氏

日時：10月27日(土)

### ■とのまる 劇場上演

日時：(調整中)



### お問い合わせ先

(財)鳥取市文化財団 TEL:0857-23-2410 FAX:0857-23-2420  
http://www.yamabiko-kan.or.jp/tbz/



画家 福田典高

プロフィール

(ル・サロン会員 鳥取県美術協会  
会員)国府町中河原出身、18歳で  
上京、美人画の巨匠、高沢圭一画  
伯に師事する傍ら美術研究所に  
通いモデルデッサンに専念、同時  
にグラフィックデザインを学ぶ。  
東宝・東映映画宣伝部を経て、週  
間誌、月刊誌、単行本、AD業界な  
どのイラストレーション、デザ  
インを仕事とする。「太陽美術協  
会会員」「ル・サロン会員」とな  
る。45年間暮らした東京を離れ、  
平成12年に鳥取市へUターンし、  
現在、国府町中河原にあるアト  
リエ小学校(旧成器小学校)にて  
「ふるさと風景画」制作に専念。



ウツギ咲く頃(油彩 100号)

# 殿ダム展

第2-回会場 とき 時代を語る・私は袋川

殿ダム建設を長年見続ける2人の男 画家 のり たか 福田典高

## 画家 福田典高氏と殿ダムとの係わり

私は国府町中河原の出身で、現在アトリエとして使わせていただいている旧成器小学校の卒業生です。子供の頃は山で昆虫を捕ったり、川で魚釣りをしたり、自然の中でおもいっきり遊んでいました。ダムができるという話は子供の頃から聞いていましたが、夢物語りと思っていました。その後、東京で仕事を始め、45年の歳月が流れていきました。平成9年頃、我がふる里に本当にダムができる事を知り、東京に居ながら「ふる里国府町の原風景を絵で残したい」という思いが日に日に増していき、平成14年にUターンし、現在、殿ダムにて消え行く山村集落の風景を中心に、ふる里の風景を描いています。

## 殿ダムに寄せる思い

ダム建設によって一旦自然を壊す事は止む終えませんが、できるだけ以前あった形に自然を再生して欲しいと願っています。特にダム湖周辺に計画されている水辺の公園は、ただ単に浅瀬を作っただけの親水公園ではなく、淵と瀬を作り、いろんな生物が微妙な自然界のバランスで生存するビオトープを作り、本物の自然に子供たちが触れることができる整備を行っていただける事を願っています。



扇ノ山ブナ林(油彩 30号)



神護かやぶき集落(水彩 6号)

## 殿ダム湖周辺地域ふるさと再生21プランの紹介

『殿ダム展』では、過去からの時代を背景とした展示を行っており、未来としては地元住民代表が中心となり組織する『殿ダム周辺整備検討委員会』が作った『殿ダム湖周辺地域ふるさと再生21プラン』を紹介しています。

このプランでは、環境に配慮した親水公園を中心に周辺の自然と集落の調和を大切にし、鳥取市民の憩いの場となる計画として、市・県・国により整備が進められます。



# 殿ダム工事情報

殿ダム建設現場で  
巨大な重機が動いています!

うわっ!



**46トンダンプ**

町中で見かける10トンダンプの  
約4.6倍の量を載せられます!



おーい

**5<sup>m3</sup>の土を1かきですくえる**

**バックホウ(ショベルカー)**

このバックホウ1かき(1杯分)で、  
10トンダンプ1台分の土をすくえます。

## この巨大な重機を使って、どんな工事をしているの?

工事を請け負う鹿島建設株式会社の出石陽一殿ダム工事事務所工事課長にお話を伺いました。



出石陽一工事課長

## 殿ダム本体部分の基礎掘削を行っています。

基礎掘削とは、ダム本体(堤体)を築く場所の、底の面と左右岸の地山を硬い岩盤まで掘る事を目的とした工事です。最初、表土や比較的軟らかい岩などを掘り、次に硬い岩盤は火薬を使って掘削を行います。その際出た土砂や岩石は、殿ダム本体の盛りたて材料として使えるものは仮置場へ、使えないものは土捨場へ運びます。その時に、この巨大な重機を使い、作業の効率化をはかっています。



## どんな手順で基礎掘削工事をしているの?

下記のような手順で基礎掘削工事を行なっています。

### ① 押し落とし

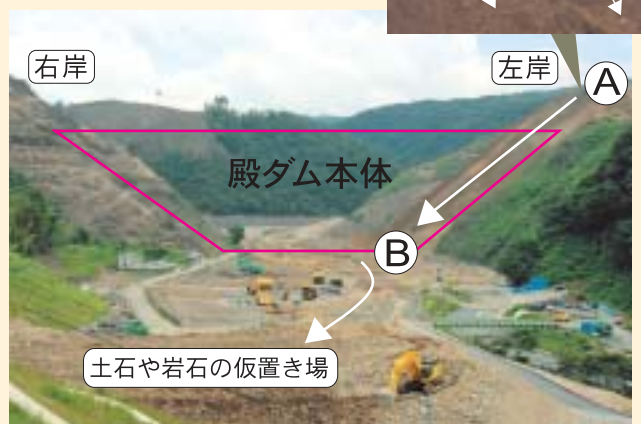
掘削する山の上の方(右の写真の(A)地点)から河床付近((B)地点)へ、土砂や岩石を落とす作業(押し落とし)を行っています。

### ② 土砂や岩石の選別

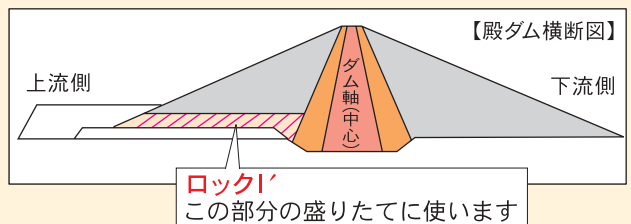
押し落とされた土砂や岩石を大きさによって選別し、ダム本体に使えるものは仮置場へ、使えないものは土捨場へ運びます。

### ③ 本体の盛りたて

(A)の地点から掘削され、ダム本体に使える岩石は、右下図のロックIの部分として盛りたてて利用します。



殿ダム本体ができる工事現場



基礎掘削で発生した土砂や岩石をダム本体に使える物は使う事(リサイクル)により、建設費のコスト縮減につなげています。また、左岸側の掘削形状の見直しにより、約8億1,000万円のコスト縮減が可能となりました。今後もコスト縮減、環境負荷の軽減など、より良い施工計画を検討・実施していきます。

近代化遺産としては  
県内初!

## 国府町の旧美歎水源<sup>みたに</sup>地水道施設が 国の重要文化財に指定されました。



昭和初期頃の美歎水源地のダム(鳥取市水道局提供)

江戸時代、鳥取市の一般庶民の生活用水や飲料水は全て袋川や井戸に頼り、水質の悪い衛生環境は、明治末まで改善される事はありませんでした。

明治36年、市内の開業医田中信慶が私財を投じて、具体的な水道布設計画書を市長に寄付しました。その後、大正元年に工事が開始され、大正4年にほぼ完成し、美歎水源地从ら鳥取市上町の配水池まで鉄管で送水し、市民の飲用と消火用に備えました。

しかし、大正7年に鳥取市を襲った水害により、堰堤が決壊し、大惨事となりました。大正8年から11年にかけて復旧工

事を行い、美歎水源地は見違えるような強固なものとなって再生し、給水を再開しました。現在の堰堤はその時のものです。

その後、美歎水源地は昭和53年に休止となり、市民の水がめとしての役割を終え、平成11年から砂防ダムとして活用されています。

美歎水源地は大正から昭和にかけて鳥取市が近代化に向けて躍進していた時代の雰囲気や、取水から貯水、浄水までの最先端技術を取り入れた近代水道施設の構成を知ることができます。このような例は全国でも数少なく、歴史的価値が高いとして、この度、国の重要文化財に指定されました。



鳥取市の歴史を遡ると、水源は袋川にあり、鳥取県内でもいち早く近代的なダムが国府町に建設されていた事は、鳥取市民の誇りでもありますね!

近年、異常気象により年々各地で洪水や渇水による被害も増えてきています。そんな中、鳥取市民(特に中心市街地)の安定した水の供給と洪水調節の点において殿ダムの果たす役割は大きく、美歎水源地と同様、鳥取市民の誇りとなれるよう、強固なダムを造ります。

### 殿ダム NEWS 1



写真左より、協議会顧問(県警本部刑事部組織犯罪対策課長)、協議会会長(殿ダム工事事務所長)協議会副会長(鹿島建設株式会社殿ダム工事事務所長)協議会顧問(鳥取県民会議 専務理事)

## 殿ダム工事関係者暴力追放協議会発足

8月6日、殿ダム工事事務所、殿ダム工事受注業者、鳥取警察署、鳥取県警察本部、暴力追放鳥取県民会議から25名の出席により「殿ダム工事関係者暴力追放協議会」設立総会が開催されました。

本協議会は、大規模工事である殿ダム工事に違法・不当な手段で介入しようとする暴力団及びその関連企業など反社会勢力を、発注者・受注者・警察・暴力追放鳥取県民会議など関係機関が一体となって排除することを目的として設立されました。

本会議の設立により、被害の防止並びにさらなる事業の円滑な推進を図ります。

### 殿ダム NEWS 2



## 殿ダム起工式を行いました

6月27日殿ダム起工式式典を行いました。式には平井伸治知事や竹内功市長、甲村謙友中国地方整備局長を始め、多くの関係者の他、移転者や地元関係者の方々など総勢約200人の方にご出席いただきました。

この式典は、本格的にダム本体(堤体部分)を造るにあたり、無事に工事が進む事を祈願して行なう式典で、この日からいよいよ殿ダム本体工事が開始となりました。

### お問い合わせ & お便りのあて先

国土交通省  
中国地方整備局 **殿ダム工事事務所**  
とのまる通信編集部  
〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1221  
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>



再生紙を使用しています



大豆インクを使用しています